

2019年10月31日

広島中央農業協同組合  
広島県信用農業協同組合連合会  
農林中央金庫

## 西日本豪雨災害にかかるファンド案件について

農林中央金庫は、農業法人向け投資育成ファンドを運営するアグリビジネス投資育成株式会社（以下「アグリ社」という。）と連携し、稲作等を営む農業法人である農事組合法人ファーム志和（東広島市、代表理事組合長：高木 昭夫）に対して、全国で2例目となる平成30年西日本豪雨被災法人を対象とした復興ファンドからの出資（出資額：5百万円）を実施いたしましたので、お知らせいたします。

### 1 案件概要

#### (1) 平成30年西日本豪雨を対象とした復興ファンドの概要

アグリ社は日本政策金融公庫とJAグループが共同で設立した法人で、農業法人等への投資育成事業を実施しております。

平成30年西日本豪雨で被災した農業法人等における甚大な被害に鑑み、災害救助法の適用地域に保有・使用する施設が被災した法人を対象に財務を出資面から支援することを目的として、2018年10月に復興ファンドの対象先として西日本豪雨での被災法人を追加しました。

アグリ社は平成30年西日本豪雨被災法人に対しての出資実績が1例のみであり、本件が全国2例目の案件となります。

#### (2) 今回の出資内容

出 資 日：2019年10月31日（木）

出 資 額：5百万円

資 金 使 途：豪雨災害を受けた水田の修復費用および経営効率化に資する除草ロボットの導入

### 2 対象会社の概要

名称	農事組合法人ファーム志和
代表者	代表理事組合長 高木 昭夫
所在地	広島県東広島市志和町内2558番地
事業	1997年11月に、当組合の前身である農事組合法人ファーム・ウチを

内容	<p>設立し、地域内の農地約 36ha を集積して水稲と飼料用イネを中心とした経営を行っていた。</p> <p>また、2009 年 12 月に、同じく当組合の前身である農事組合法人ファーム東志和を設立し、地域内の農地約 12ha を集積して水稲とアスパラガスを中心とした経営を行っていた。</p> <p>両法人は、東広島市<sup>うち</sup>内土地改良区の事業区域内に立地し隣接していること、農業機械の共同利用を行っていること、繁忙期に人の融通を行っていること、新設合併を行い農地中間管理機構に利用権設定を行えば地域集積協力金が受けられることなどから、2014 年 11 月に両法人を新設合併し農事組合法人ファーム志和を設立した。</p> <p>こうして設立された当組合は、現在では地域内の農地約 64ha を集積し、水稲・野菜（アスパラガス、タマネギ等）・飼料用イネ（WCS）・農作業の受託等を中心として経営を行うとともに、地域の多面的機能の維持向上に努めている。また、2015 年度より旭酒造（瀬祭）との契約栽培により、酒造好適米（山田錦）の栽培を始めるなど、品目の多角化を進めている。</p>
----	--

農林中央金庫では、被災された農林水産業者等の皆様の資金繰りの円滑化に資するため、JAバンク・JFマリンバンクとともに新規のお借入や既往借入金のご返済に関する相談窓口を開設し、低利の災害対策資金のご対応、復興ファンドの他にも各種の金融支援を実施しております。

引き続き広島県域において農林水産業の復興、被災された皆様の事業の継続、生活の再建に向けた支援を含め、総合的な金融サービスの提供等の支援を実施してまいります。

以 上

<本件に関するお問合せ先>

農林中央金庫 中国営業部（野尻、高橋） Tel：086-222-0724